

うめきた開発の経過

- 1987年 梅田貨物駅が国鉄清算事業団へ承継（貨物機能移転へ）
- 1991年 国より都市中枢機能を担う開発とする方針が示される
- 2004年 「まちづくり基本計画」の策定（前年の国際コンペを踏まえて）
- エリアマネジメント組織の設置、「ナレッジキャピタル」の形成
 - 開発効果の周辺への波及 → 「大梅田地区」としての発展
- 2006年 先行開発にかかる民間事業者が決定
- 2012年 **（一社）グランフロント大阪TMO設立**
- 2013年 **先行開発（グランフロント大阪）まちびらき**
- 2014年 「大阪版BID制度」の創設
- ⇒ 2015年 先行開発区域に適用
- 2015年 「うめきた2期区域まちづくりの方針」の策定
- 「みどり」とイノベーションの融合拠点
 - 周辺と一体となったエリアマネジメント
 - 周辺に進出・波及する「みどり」
- 2018年 2期開発の民間事業者が決定
- ⇒ 2024年の先行まちびらきをめざす



【2004年当時のうめきた地区】

「みどり」と「イノベーション」 の融合拠点

世界の人々を惹きつける
比類なき魅力を備えた「みどり」

- ・ まち全体を包み込む「みどり」が、ここにしかない新しい都市景観を創出し、多様な活動、新しい価値を生み出す源となり、世界の人々を惹きつける。

新たな国際競争力を獲得し、
世界をリードする「イノベーション」の拠点

- ・ 世界から人材、技術を集積・交流させ、新しい産業・技術・知財を創造することで新たな国際競争力を獲得し、世界をリードする「イノベーション」の拠点。

賑わいの創出に活用する
空間となる「みどり」

民間敷地等の
「みどり」

人材を呼び込む
環境となる「みどり」

地区全体で
概ね8haの
「みどり」

イノベーション創出の
実証の場となる「みどり」

新産業創出テーマ「ライフデザイン・イノベーション」

IoTやビッグデータ等を活用し、創薬や医療機器開発だけでなく健康で豊かに生きるための新製品・サービスを創造

